



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：トルキー駐米大使の辞任と新大使の任命 (1月30日付現地報道)

- 1月29日、アブドラ国王は、トルキー・ビン・ファイサル殿下の希望を聞き入れ、同氏の駐米大使辞任を承認し、サ우드外相の推薦に基づき、アーデル・ビン・アハマド・アル ジュベイル氏を大臣級の駐米大使に任命する国王令を同日付で発出した。
- アル・アラビーヤ放送及び「ワタン」紙が報じたジュベイル新駐米大使の略歴：
氏名： アーデル・ビン・アハマド・アル ジュベイル (Adel bin Ahmad Al-Jubeir)
生年： 1962年、44歳
出身： リヤド市スデイル地区
学歴： 1982年 米国ノース・テキサス大学 政治経済学部卒業
1984年 米国ワシントン州ジョージタウン大学 国際関係修士号取得
職歴： 1986年 バンダル・ビン・スルタン元駐米大使付き特別補佐
1990 - 91年 駐米大使館報道官
1999年 駐米大使館広報部長
アブドラ皇太子(当時)顧問
2006年 アブドラ国王顧問

(参考)

同氏の父も外交官で、子供時代をドイツで過ごし、米国で高等教育を受けた外交官。2001年の米国同時多発テロの際には、CNN等のテレビに出演し、サウジアラビアにかけられたテロ嫌疑やビン・ラーディンがサウジ国内で広く受け入れられている等の米国メディアの報道に対し反駁した。